

# 研究開発型ベンチャー支援に関する 取組について

平成30年4月  
経済産業省

# 研究開発型ベンチャー政策の全体像

## 意識改革

### 日本ベンチャー大賞

挑戦を称える社会意識を醸成するため、若者などのロールモデルとなるような、インパクトのある新事業を創出したベンチャー企業等を表彰。初の総理大臣賞として安倍総理が表彰。

### 起業家教育の導入支援

初等・中等教育における、起業体験授業などのモデル事業の実施・普及。大学においても、大学院生や若手研究者向けの起業家・イノベーター育成プログラムを導入。

## スキル向上

### 始動 Next Innovator (人材の架け橋)

別紙2

社会課題の解決やグローバル市場への進出など目線の高いビジョンを持った次世代のイノベーションを担う人材をシリコンバレーに派遣。安倍総理の「シリコンバレーと日本の架け橋」プロジェクトの一環。

### 創業スクール

地域における創業予備軍の掘り起こし及び創業希望者の基本的知識の習得、ビジネスプランの策定支援。受講者のビジネスプランコンテストも実施。

## 事業化

### 研究開発型 ベンチャー支援事業

別紙1

認定したVC等から出資を受ける研究開発型ベンチャー企業等に対し、事業化に係る費用などを補助。

### 創業・事業承継促進 補助金

新需要を創る商品・サービスを提供する創業者に補助。

### 創業者向け低利融資

新たに事業を始める者、創業初期の会社に対する融資。

### エンジェル税制

創業初期の会社に出資する個人に対する優遇税制。

## 成長促進

### 日本企業アクセラレーションプロジェクト (企業の架け橋)

別紙2

中小・中堅企業・ベンチャー企業を米国等のイノベーション先端地域に派遣し、ネットワーキング等を実施。

別紙2・3

### 大企業との連携促進

大手企業の経営資源とベンチャー企業のアイデアや技術をマッチングし、成長を促進するイベント等を実施。さらに、成長ベンチャーへの官民による集中支援プログラムを推進。

### 産業革新機構の出資

成長性・革新性を有するベンチャー企業や民間ベンチャーファンドへの出資。

### 中小機構の出資

中小企業・ベンチャー企業を支援するファンドに出資。

### 企業のベンチャー投資 促進税制

ベンチャーファンドに出資する企業に対する優遇税制。

# 研究開発型スタートアップ支援事業

## 平成30年度予算額 17.0億円（15.0億円）

### 事業の内容

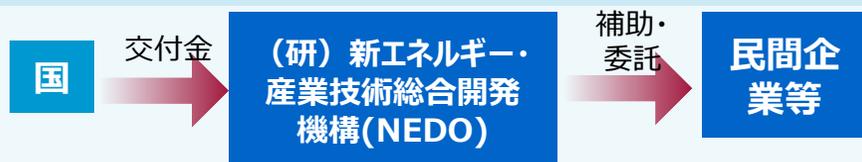
#### 事業目的・概要

- 研究開発型ベンチャー（スタートアップ）の創出・発展のため、資金面・事業化面の支援を行うことにより研究開発型スタートアップが次々に創出される環境の構築を図ります。
- このため、実用化開発に係る費用等を支援するとともに、起業時に必要な手続き・活動に対して支援を実施します。具体的には、(研)新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の認定を受けたベンチャーキャピタル（以下、VC）等を中心に、専門家による出資・経営指導等の事業化にむけた支援を行うことにより、起業から他企業との共同研究の実現まで、それぞれの段階に応じた支援を行う仕組みを構築します。

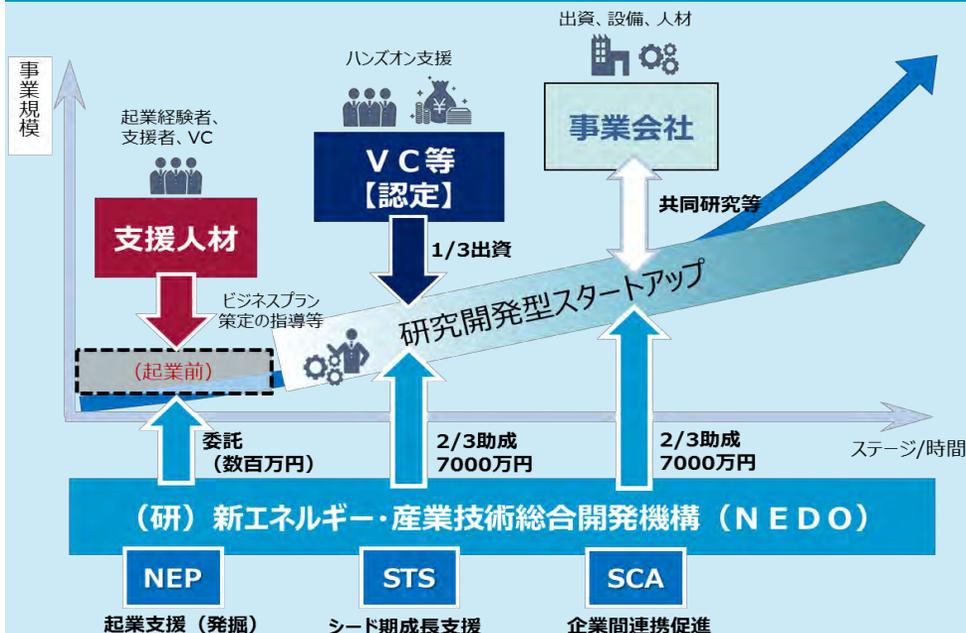
#### 成果目標

- 平成29年度から平成31年度までの3年間の事業であり、
  - ① 5年後に認定VC等がNEDO事業開始前と比較して研究開発型のスタートアップに対する投資額が2倍
  - ② 事業終了後5年以内でのM & A等によるイグジットが3割以上となることを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ



- NEDOが、シード期（起業前含む）、創業期の研究開発型スタートアップを支援するVC等を公募。
- 認定されたVC等の出資等を受けるスタートアップの中から選定された企業等に対する以下の支援を実施。
  - 実用化開発、事業プラン作成等の事業化に係る費用への助成等
  - VC等による助言、活動拠点の提供
  - 上記支援を効果的に活用する場（エコシステム）の提供等

# グローバル・ベンチャー・エコシステム連携強化事業

平成30年度予算額 **3.1億円 (3.5億円)**

別紙2

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 安倍総理のイニシアティブにより平成27年度から進めてきた「シリコンバレーと日本の架け橋プロジェクト」では、次世代のイノベーションの担い手となる人材の基礎集団を形成するとともに、シリコンバレーの資源を最大限活用し世界での飛躍を図るベンチャー企業等の創出を支援してきました。
- 今後、第4次産業革命の下で、我が国が国際競争力を高めていくため、我が国のベンチャー・エコシステム（グローバルにインパクトを生み出す起業家やベンチャー企業、イノベーション企業が自立的・連続的に生み出される仕組み）を育成し、イノベーションを創出し続ける好循環の確立が必要です。
- 本事業では、我が国のベンチャー・エコシステムの中核となるプレイヤーの創出を更に加速するとともに、世界のイノベーション拠点において、我が国のベンチャー企業・起業家等のプレゼンスを高めるための情報発信、国内外での交流・ネットワーキングイベント等を開催し、平成32年（2020年）に開催するグローバルベンチャーサミットに向けた各国との連携強化を図ります。

### 成果目標

- 事業を通じて、以下を目指します。
  - ・イノベーター人材育成プログラム参加者の事業プラン実現に向けた活動指標（事業化実現比率）：事業終了1年後40%、事業終了2年後60%
  - ・グローバルベンチャー創出プログラム参加企業の海外展開に向けた活動指標（活動比率）：事業終了1年後40%、事業終了2年後60%

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

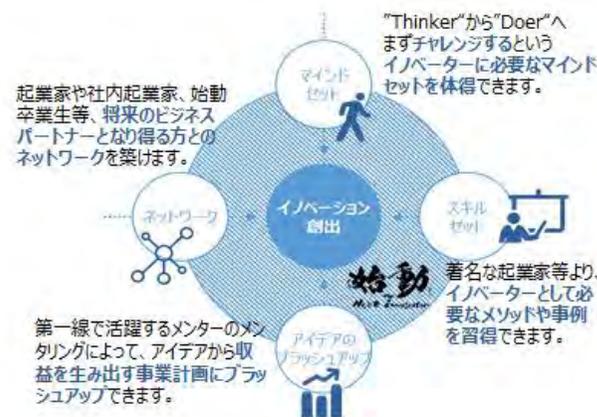
### （1）イノベーター・グローバルベンチャーの創出加速化支援

#### ①イノベーター人材の育成

起業家、企業内の新規事業担当者等、イノベーションの担い手となる人材に対して国内外で研修を行い、世界に通用する新事業を生み出す人材を輩出します。

#### ②グローバルベンチャーの創出支援

海外市場への国際展開を目指す中小・中堅・ベンチャー企業を選抜してシリコンバレー等のイノベーション拠点に派遣し、現地の投資家・取引先・最終消費者等とのネットワーク構築や現地の実情を踏まえたビジネスプランのブラッシュアップなど、海外における事業展開に必要な知見・ノウハウ・ネットワークの獲得を支援します。



2017年7月14日(金)  
キックオフイベントの様子

### （2）交流・ネットワーキングイベントの開催

- ベンチャー企業、大企業、ベンチャーキャピタル等の支援機関が参加する交流・ネットワーキングイベントを国内外で開催すること等により、2020年に開催するグローバルベンチャーサミットに向けて、我が国のベンチャー企業・起業家等の国内外における認知を高めます。

平成29年度補正予算額 **36.3億円**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- イノベーションの担い手であるベンチャー企業を取り巻く世界の環境変化は加速しており、これまで数多くのベンチャー企業を生み出し続けているシリコンバレーのみならず、「フレンチ・テック」を大々的に推進するフランスや、「中東のシリコンバレー」と呼ばれ海外からの投資が8割を占めるイノベーション拠点を運営するイスラエル等、ベンチャー・エコシステム間の競争が激しさを増している状況です。
- 本事業では、第4次産業革命の下で、我が国が国際競争力を高めていくため、我が国のベンチャー・エコシステム（グローバルにインパクトを生み出す起業家やベンチャー企業、イノベーション企業が自律的・連続的に生み出される仕組み）を強化します。
- また、ハードウェア（HW）の設計・試作に必要な設備を有する工場等とスタートアップの間に立って、量産化設計・試作に必要な設備、ノウハウ、資金提供も含め、我が国のベンチャー・エコシステム高度化に必要な、複雑な工程をマネジメントする機能を整備します。
- 有望海外ベンチャー企業等に関する情報収集を行うとともに、海外ベンチャー企業等が求めるマーケット情報、ビジネスプランの提案等の機能を強化することが必要です。

### 成果目標

- (1) 支援企業のうち、10年以内にEXITする企業を5割創出を目指します。
- (2) 量産化を見据えた設計・試作に係る機能を有する工場等を本事業で5件創出を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

国	委託	民間企業等	
国	補助 (10/10)	独立行政法人 情報処理推進機構	
国	補助 (10/10)	民間企業等	補助 (1/2) → 民間企業等
国	交付金	独立行政法人 日本貿易振興機構	

## 事業イメージ

### (1) Startup セレクション

- 官民のベンチャー支援機関が行う支援プログラムやピッチイベント等の受賞者等を一定の基準に基づきセレクト、「Startup JAPAN」（仮称）としてブランディングし、集中支援を行うとともに、海外向けの情報発信ツールを活用して我が国ベンチャーを国内外にPRします。

### (2) IT人材連携促進事業

- ピッチ・マッチングイベント等を通じて、IT人材の人的ネットワークの形成・強化を図り、早期の起業・事業化に向けた人材の連携・チーム化を促進します。

### (3) Startup ファクトリー

- HWの①プロトタイプ製作②量産化設計・試作③工場ネットワーク④アクセラレーションのための支援機能（設備、人的サポート）を有する者を支援します。

### (4) Startup ゲートウェイ

- 現地での情報収集及び対日進出相談窓口となる専門家を配置するとともに、ニーズに応じた日本の産業動向や対日投資に係る制度情報、市場分析、ビジネスプラン提案資料を作成します。

